

学生企画活動 支援事業報告

平成24年度の学生企画活動支援事業のうち、前号までに
取り上げていない、「ウインターキャンプ」「楽器ふれあいコン
サート」「学生オペラ2013」の活動報告です。

ウインターキャンプ

ウインターキャンプは、学生が企画し、障がいを持つ子どもとその家族と一緒に1泊2日のキャンプを行うというもので、障がいの有無に関係なく、参加する全員がこのキャンプを楽しみ、共に成長できる仲間をつくる機会にしていこうという目的のもと、実施しています。

今年度も、2月16～17日に今庄365スキー場へ1泊2日のキャンプに行ってきました。インフルエンザ等が流行っていたこともあり、2家族ほど急遽キャンセルという事態もありましたが、大きな怪我もなく、帰ってくる事ができました。1日目の天候があいにくの吹雪で、子どもたちがゲレンデに出て遊ぶ場面が少なかったのですが、2日目はキャンプに参加した子ども全員がゲレンデに出て遊ぶことができ、それぞれがそり滑りや雪だるま作り、雪合戦をするなどして、普段滅多に触れることのできない雪を通して思い思いの時間を過ごすことができたと思います。2日間を通して、子どもだけでなく、保護者や学生、教員等全員の表情が笑顔になるようなキャンプだったと思います。

藤原 靖子(教育・発達基礎コース3回生)



楽器ふれあいコンサート

私たちは夏休みやセンター休み等を利用し、奈良市内の幼稚園等で「ふれあいコンサート」という演奏会を行っています。学生企画活動として大学に支援していただき、昨年度は大学の附属幼稚園を含む奈良市内の幼稚園10ヶ所、保育園2ヶ所、福祉施設1ヶ所でコンサートを行うことができました。

このコンサートは、地域の方々に日常生活ではなかなか聴くことのない生の音楽を聴き、実際に楽器に触ったり吹いてもらったりすることで、音楽の楽しさを知って、少しでも音楽に興味を持ってもらうことを目的としています。全体では1時間ほどで、30分ほど演奏をしたあと、残りは実際に楽器に触ってもらう時間としています。また、一昨年度からは、飲料の空き容器とお米を使って手作りのマラカスを作り、身近なものを使って楽器が簡単に作れるということを知ってもらい、音楽をより身近に感じてもらうようとしています。そして、そのマラカスを私たちの演奏に合わせて一緒に振ってもらうことで、みんなで演奏することの楽しさを知ってもらうようとしています。

演奏会のあとに子ども達や保護者の方、先生方から「楽しかった」「もっと聴きたかった」「また来年もやってほしい」等の感想をいただくこともあり、私たちの練習の励みにもなっています。この活動を通して、少しでも多くの人に音楽の楽しさを知ってもらい、音楽に興味を持ってもらうため、今後も続けていきたいと考えています。

佐藤 香穂(教育・発達基礎コース3回生)



学生オペラ2013

3月17日(日)、奈良教育大学講堂にて、学生オペラ「天国と地獄」を上演しました。学生オペラは今年で14年目を迎え、学生企画支援事業としては9回目の公演となりました。

今回のテーマは「びっくり!!ドッキリ!!一度きり!!!～あなたが来れば神々も歌いだす～」でした。このテーマは、会場に足を運んでくださったお客様全員が、歌や踊りや演技、全てに驚き、感動するような「魅せる」オペラを作り上げ、最後には会場全体が歌声でいっぱいになるように、という思いで決定しました。

本番に至るまでには、計画していたように企画を進められなかったり、仲間同士で意見がぶつかったり、と様々な困難がありました。また、練習以外にも大道具・衣装制作や広報活動など、これまで経験したことのない取り組みに戸惑い、時には失敗することもありました。しかし、その度に全員で意見を出し合い、周りの方々に助言をいただき協力していただきながら少しずつ少しずつ前に進んでいき、本番を迎えることが出来ました。

そうして迎えた本番では、350人近くのお客様にお越しいただきました。私たちが一生懸命作り上げた舞台を、このように多くの方々にご覧いただいたことにとっても大きな喜びと感謝の気持ちを感じております。また、学生オペラは来年度も公演を行う予定ですので、ぜひともお越しください!!

最後になりましたが、1年間を通して様々な形で私たちの学生オペラを支え、協力してくださった学生支援課の皆様、本当にありがとうございました。

矢野 実希(身体・表現コース4回生)

